

2019年、著名な方の舌がん公表を機に口腔がんの存在を知り不安を覚えた方もいるものと思いますが、実際に口腔がんが発生する頻度はご存知でしょうか？

口腔がんの発生は厚生労働省のデータから試算すると年間で1万人に1人程度となります。全てのがんに対し口腔がんの割合は約1%と少ないため、珍しい病気、希少がんに分類されます。

口腔がんは舌が過半数を占め（約60%）、歯肉や頬にも発生します。口だから見やすいかと思いきや、見た目での判断が困難なこともあります。いびつに膨らんだわかりやすいがんの他に怪しい印象を受けない口内炎のようながんもあるからです。

こうくうへんべいたいせん

口腔扁平苔癬という口内炎のように見える病気も要注意です。原因不明で非常に治りにくいうえに、まれにがん化する可能性があるからです。

口腔がんは見た目での判断が難しいこともある、比較的珍しい病気です。皆さまにご注意いただきたいのは口内炎のような状態がずっと続く時です。通常的口内炎は1週間ほどで治りますので、治りにくい時は上記のような別の病気かもしれません。気になる症状があれば、まずはかかりつけの歯科医院でのご相談をおすすめいたします。

歯科口腔外科 主任医長 長岡 亮介